

どんどん募集

どんどん募集



青年部はじめました！

JA青年部は、JA北魚沼の農業を支える次世代担い手の組織です。担い手交流・農業振興・農政運動・食農教育・担い手育成など、勉強したいこと、やってみたいことをみんなで企画・提案して活動します。

男女は問いません。農業に関心のある方、青年部活動に興味をもたれた方、あなたのアイデアを活かしてみませんか！

【活動内容】 地域イベントへの参加／次世代担い手の交流会／地域農業戦略の勉強会／消費者体験ツアーへの参加／先進地への視察…など、その他様々な地域活動

【参加資格】 年齢49歳までの方

【お問い合わせ】 JA北魚沼青年部事務局（営農企画課内） TEL（025）793-1770

農業所得申告支援システム 説明会のご案内

JA北魚沼と魚沼市財務課合同で、農業所得申告支援システムの説明会を下記の日程で行いますので、お気軽にご参加ください。

※堀之内会場が変更になりました。

《説明会日程》 ※会場が変更になる場合があります

1月18日(水) 9:00 ~ 11:30	守門会場	守門開発センター 2F大集会室
1月18日(水) 13:30 ~ 16:00	入広瀬会場	入広瀬支店2F
1月19日(木) 9:00 ~ 11:30	湯之谷会場	湯之谷支店中会議室
1月19日(木) 13:30 ~ 16:00	広神会場	広神コミュニティーセンター 3F講堂
1月20日(金) 9:00 ~ 11:30	堀之内会場	堀之内公民館 2F中ホール
1月20日(金) 13:30 ~ 16:00	小出会場	本店2F大ホール



《相談会日程(収支内訳書記帳相談)》 ※会場が変更になる場合があります

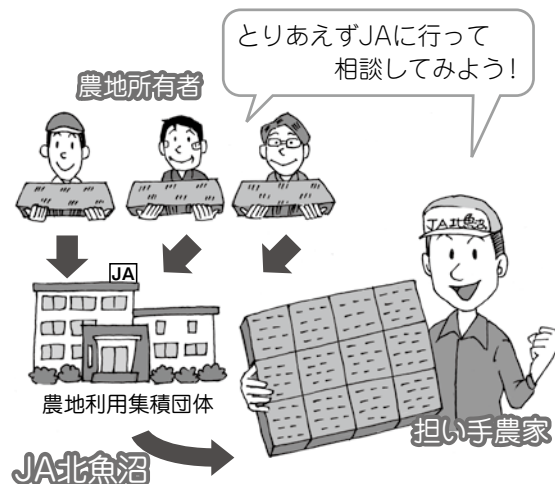
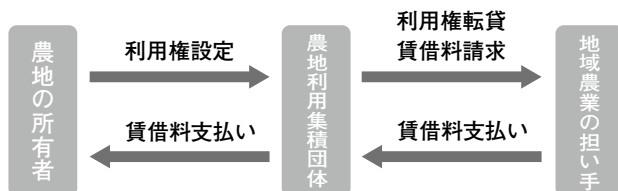
1月25日(水) 9:00 ~ 11:30	守門会場	Aコープ守門店2F
1月25日(水) 13:30 ~ 16:00	入広瀬会場	入広瀬支店2F
1月26日(木) 9:00 ~ 11:30	湯之谷会場	湯之谷支店中会議室
1月26日(木) 13:30 ~ 16:00	広神会場	広神コミュニティーセンター 1F会議室
1月27日(金) 9:00 ~ 11:30	堀之内会場	堀之内公民館 2F研修室
1月27日(金) 13:30 ~ 16:00	小出会場	本店2F大ホール

JAより
資料が届いた方は
当日ご持参下さい

農地利用集積団体

農地を有効に活用するために、
JA北魚沼が農地の貸借を
仲介します！

大切な農地の貸し借りは
JAにお任せください。



- ◆農地所有者：個別に相談させていただきます
- ◆担い手農家：農地を借りうける場合は、農地利用集積団体に登録する必要があります

- (1)集落営農や農事組合法人などが農地を集積する場合に有効な手法です。
- (2)農地所有者への賃借料はJAが仲介しますので未納によるトラブルがありません。
- (3)依頼された農地について、担い手がどうしても見つからない場合、引き受けできない場合があります。

労災保険

農作業に従事される皆様へ（指定農業機械従事者）



農作業による大型機械等での事故が大変多くなっております。
事故の多くはトラクターやコンバイン等の大型農業機械が原因であり、60歳以上の年齢に事故が多く、全体の約70%を占めています。中には死亡に至ったケースもあり、いずれも高齢者の大型機械による事故でした。特に春・秋の農作業に従事する方にはご加入をお勧めします。

※ご加入頂ける時期は2月～3月になります。

加入対象になる制度

労災保険は、業務上の事由により怪我や疾病にあわれた農業者に対して、必要な保険給付を行い、金銭的な援護を図る国の制度です。

保障対象作業

指定農業機械を使用する作業及びこれに直接付随する行為

* 指定農業機械とは

動力耕うん機、乗用型トラクタ、動力溝掘機、田植機動力刈取機、コンバイン、スピードスプレヤ、防除機、トラック、その他自走式運搬車、動力揚水機、動力摘採機、動力剪枝機、動力草払機、動力カッター、動力脱穀機、単軌条運搬機、チェーンソー、コンベヤー

- ・保険給付者になると、病院での治療を全額無料で受けられます。（療養保証給付）
- ・災害等で一定期間働けない（何もできない）状態になり休業を余儀なくされた場合には、4日目以降より加入金額の6割、特別支給として更に2割支給されます。（休業補償給付）

お問い合わせ：JA北魚沼営農経済部営農企画課 TEL：025-793-1770

世界最高水準のおいしい魚沼コシヒカリづくり

～ 平成24年コシヒカリ目標全量1等 ～

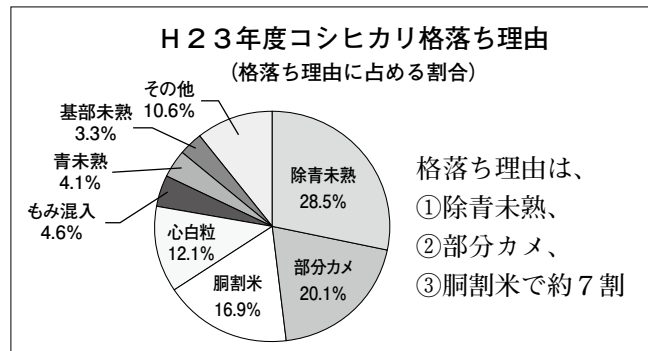
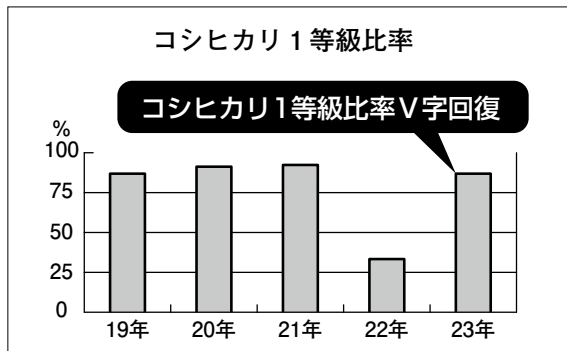
平成23年産コシヒカリは、高温気象の厳しい条件下で1等級比率87%と平年並を確保し、V字回復を果たしました。

これは、生産者並びに関係機関・団体が一丸となり品質向上対策に取り組んだ結果です。

平成24年度は、コシヒカリ全量1等となるよう重点技術対策の徹底を図りましょう。

平成23年度の1等米比率

うるち米の1等級比率 87% (12月10日時点)



平成24年度重点技術対策

1. 初期生育量確保【最重点】

- 適期・適正苗での田植え実施
 - ・ 稚苗2.2葉苗、中苗3.5葉苗
 - ・ 山場では中苗の活用
 - ・ 移植時期に合わせた播種+苗の生育状況に合わせた適期田植え徹底 (近年の育苗期間の高温で老化苗になりやすい)
- 最適期 (5/15~20) 田植えの推進
 - ・ 稚苗5/25、中苗5/30までの田植え終了
 - ・ 移植時期に合わせたほ場準備
- 弁当肥の施用
 - ・ 田植え4、5日前に窒素成分1~2g/箱施用
- 適正栽植密度 (60株植え) で田植え
 - ・ 平場60株植え、山場70株植え
 - ・ 平場でも、遅めの田植えや分けつが緩慢なほ場では70株植を検討

2. 中干しの徹底【最重点】

- 出穂1ヶ月前 (7月7日頃) までに中干し終了で根の健全化
 - ・ 梅雨の本格的降雨前に中干し実施 (中干し効果大)
 - ・ 中干し終了→間断灌水・飽水管理 (水がなくなったら灌水) →常時湛水

3. 水管理の徹底

- 幼穂形成期以降の常時湛水
 - ・ 出穂3週間前~出穂後25日以降まで常時湛水
 - ・ 出穂期前後10日 (計20日間) はやや深水管理
- 深水で水温上昇防止
 - ・ 高温が予想される場合は、水温上昇防止のため、やや深水管理
- 水温が上昇した場合は水の更新で水温低下
 - ・ 水温が上昇した場合は、新たな用水を入水するなど、水温の低下に努める (減水深の少ないほ場、異常高温時では特に注意)
- 後半まで水をかける
 - ・ 落水は、出穂後25日以降
 - ・ 高温時には出穂後25日以降も水をかける

4. 刈り遅れ防止と丁寧な乾燥・調製

- 出穂期からの積算温度1,000℃に刈取ピークを迎える作業計画の徹底
- ほ場で黄化割合を確認し適期収穫
- 丁寧な乾燥・調製作業でミスによる格落ち防止

5. 土づくりの推進

- 有機センター堆肥の活用
- 地域に適した土づくり肥料の活用
- 秋すき込みの徹底
- 作土層の15cm確保